

わん+NAVI

レスキュー&セラピードッグたちの最新情報



石川県救助犬協会連合会 会報
平成23年5月1日 第8号発行

ごあいさつ

特定非営利活動法人
石川県救助犬協会連合会
会長 松平 博之

阪神淡路大震災以降、能登半島や柏崎への出動の記憶も薄れつつある昨今でしたが、ニュージーランドの地や日本列島の各地で未曾有の大災害が勃発し、改めて身の震える思いがあります。

今回被災の各地の多くの皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

14回目の石川県災害救助犬嘱託試験も目前に迫り、新たな規定科目に取り組んでいた矢先の、全く突然の悲惨な出来事がありました。

我々、災害救助犬ほか各種の使役犬の育成に携わる者にとっては、益々負託の重責が迫って参りました。

出動のたびに、各種多くの問題や改善点が顕れ今後の課題は山積しておりますし、災害救援活動や捜索活動は社会的に認知度は上がって来たものの、まだまだ現地での活動には多くの障害を孕んでおります。

会員各位の情熱や関係各方面的理解や協力に応えるべく、また災害救援や社会福祉の負託に応えるべく、更に更に努力が必要と痛感いたします。

毎回『世界中どこにも、我々が出動するような不幸な災害が起こらないことを祈り』続けておりますが、被災地に立つ度に寂寥感で胸が締め付けられる思いがあります。

もう二度と非常召集を発令することの無い世界を願いつつも、「備えよ、常に」との思いで今後も精励を続けて参りますので、引き続き関係各位の皆様のご協力、ご助言を賜りますように、よろしくお願い申し上げます。



活動報告

平成22年

4月

- 4月11日 月例訓練
(金沢北四十万訓練場)
4月17日 デモンストレーション
☒ (NEXCO中日本 城端SA)
4月18日 セラピーデ部分 AAT訪問
☒ (あじさいの郷)
4月27日 平成22年度(第51回)
石川県防災総合訓練第1回会議
(中能登町社会福祉センター)



5月

- 5月15日 セラピーデ部分 AAT訪問
(松美苑)
5月16日 平成22年度第8回通常総会
(金沢市消防学校)
5月23日 JKC石川トレーナーズクラブ訓練競技会
(十八河原公園(手取川天狗橋詰))



6月

- 6月19日 セラピーデ部分 AAT訪問
(戸室和楽ホーム)
6月27日 月例訓練
(津幡町訓練場)



7月

- 7月3日 セラピーデ部分 AAT訪問
(松美苑)
7月10日 セラピーデ部分 AAT訪問
(やすらぎホーム)
7月15日 動物ふれあいフェア 会議
(石川県庁)
7月18日 月例訓練
(津幡町訓練場)
7月21日 平成22年度(第51回)
石川県防災総合訓練第2回会議
(中能登町社会福祉センター)

8月

- 8月11日 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
(イオンかほく店)
8月22日 JKC災害救助犬防災訓練
(岐阜県池田町温知小地区)
8月27日 平成22年度(第51回)
石川県防災総合訓練第3回会議
(中能登町社会福祉センター)
8月29日 月例訓練
(金沢北四十万訓練場)
協会員合同安全祈願
(春日神社)



9月

- 9月 4日 平成22年度石川県防災総合訓練
リハーサル
(鳥屋中学校)
- 9月 5日 平成22年度石川県防災総合訓練
(鳥屋中学校)
- 9月16日 デモンストレーション
(石川県警察学校)
- 9月19日 月例訓練
(津幡町訓練場)
- 9月26日 デモンストレーション
(手取めぐみの森 森林再生イベント
鳥越高原大日スキー場)



10月

- 10月 9日 セラピー部門 AAT訪問
(福寿園)
- 10月13日 デモンストレーション
(さくら保育園)
- 10月16日 デモンストレーション
(百万貫の岩まつり)
- 10月17日 デモンストレーション
(地区防災訓練
小松市八幡)
- 10月24日 デモンストレーション
(ドッグフェスティバル2010 inてどり
手取フィッシュランド特設会場)
- 10月30日 セラピー部門 AAT訪問
(松美苑)
- 10月31日 月例訓練
(金沢北四十万訓練場)



12月

- 12月 5日 月例訓練
(金沢北四十万訓練場)
- 12月11日 忘年会
(笑宿)

平成23年

1月

- 11月 5日 平成22年度 非常災害復旧訓練
(小松市日末町地内)
- 11月 7日 セラピー部門 AAT訪問
(大門園)
- 11月15日 月例訓練
(津幡町訓練場)
- 11月25日 セラピー部門 AAT訪問
(福寿園)



2月

- 2月11日 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
(イオンかほく店)
- 2月16日 セラピー部門 AAT訪問
(福寿園)
- 2月27日 月例訓練
(津幡町訓練場)

3月

- 3月12日 東日本大震災 災害派遣
(宮城県仙台市・岩手県奥州市)
- 3月20日 月例訓練
(津幡町訓練場)
- 3月26日 セラピー部門 AAT訪問
(松美苑)

活動紹介



災害救助犬

災害救助犬は、そのほとんどが嘱託制となっています。

石川県では、倒壊家屋の下敷きになった被災者の捜索、救助活動を行う災害救助犬の出動体制を整備するため、能力があると認められた犬を県の嘱託犬として認定し、審査会の開催を通じて県民の防災に対する関心と理解を深めています。

嘱託犬に認定されると、認定から1年間、石川県内市町の実施する防災訓練への参加と、災害時の救助活動に出動する役割が与えられます。

セラピードッグ

動物たちの力を借りて介護を要する方々の心を癒し、健康改善に役立てる医療・更正行為を動物介在療法といい、その現場で活躍する犬をセラピードッグと呼んでいます。当協会では、石川県内各地の老人福祉施設を訪問する動物介在活動を行っています。

その他

毎年、石川県救助犬協会連合会と金沢市消防本部が合同で、「救急講習会」を行っています。

救助にあたる会員が、レスキュー隊から救助資機材取扱説明や心肺蘇生法、ロープで命綱を作るといった必須項目を学びます。

その他デモンストレーションなども行っています。

公認訓練施設

金沢北四十万訓練場

津幡町森林公園内 災害救助犬公認訓練場

活動行事（予定）

6月26日（日）月例訓練（北四十万訓練場）

7月10日（日）月例訓練（津幡町訓練場）

7月11日（月）イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン（イオンかほく店）

8月28日（日）月例訓練（北四十万訓練場）

9月25日（日）月例訓練（津幡町訓練場）

その他予定 動物ふれあいフェア（辰口丘陵公園）、平成23年度石川県防災総合訓練、

自衛隊合同訓練、派遣講演、セラピー部門AAT訪問

詳しい内容についてはホームページを確認してください(<http://ird-a.org/>)

活動写真



日本大震災活動レポート

平成23年3月12日

09:30 協会事務所にてミーティング。第一陣3名は宮城県仙台市へ、第二陣は6名5頭で、岩手県の津波被害地近くの奥州市へ向かう。石川県緊急援助隊が岩手県奥州市役所を目指し12日早朝02:01頃、金沢を出発しているとの事で、現地で合流し指示を仰ぐ予定とした。

11:40 我々、第二陣は金沢森本インター付近で集合し、岩手県奥州市へ向けて出発。被災地では給油が不可能と判断、道中SAにて満タン給油を繰り返しながら進む。黒崎SAでは一車20リットル制限となる。磐越道・津川インターからは通行止めの為、手前の阿賀野SAにて緊急車両申請し通行票の発行手続きをする。

23:30 東北道・水沢インターにて高速を降りる。

23:45 奥州市役所着。石川県隊不在の為、指示を仰ぐため奥州市消防本部へ向かうこととする。

石川県隊は久慈市の津波被災地に向かっているとの事。奥州市では津波被災地区の捜索作業が主で、倒壊家屋での捜索の依頼は無いとの事。奥州から更に200キロメートル北上の久慈市を目指す事は断念する。

奥州市から程近い津波被災地の南三陸町、大船渡、陸前高田市、または釜石市などへ向かう案を提案し許可を願うが、「津波警報が依然出されている状態、危険な海岸方面への移動を断念せよ。」との指示持を受ける。何もできない事に歯痒い思いである。又、全ての連絡について困難な状態が生じ、打ち合わせなどがスムーズに行かず、苛立ちが増す。災害が起きた場合この様な事態が想定されるのは必至である。連絡手立てが断たれた場合の対処法が今後の大切な課題になると強く思う。

平成23年3月13日

01:30 現地にて県緊急援助隊からの指示を仰げない事、会長から海岸方面への立ち入りも禁止され現地に待機する意味が無いと判断し、無念ではあるが東北道を下る事を決断する。

メンバーの疲労はピークに達していたが「戻るのであれば福島原発の放射能汚染の影響が殆ど無い地点まで戻り仮眠をとる方がいいのでは・・・」という案が出た。

連続走行時間はすでに14時間以上経過。すでに深夜ではあるが磐越道まで戻る事にする。

04:00 東北道を抜け、磐越道・五百川PAまで移動、森本インターを出発してからすでに約16時間強の連続走行をした事になる。メンバーの精神や健康の問題を考慮し約3時間弱の仮眠を取ることとする。

07:00 眠れないまま日が昇る。五百川PAにて近江八幡消防隊2台と出会い、願わくば同行できたらと思ったが、これからのは本部からの指示待ちとの事。何もかもうまく行かない唇を噛む、歯痒い、悔しい。後ろ髪をひかれる思いで岩手奥州市を後にここで一夜を過ごした訳だがメンバー全員心に思う事はひとつ。行方不明の方、どういう形でも、とにかく家族の元へ帰してあげたい・・・。

その為に私達は来たのです。やはり、岩手の海岸方面へ強行走すべきだったのでは?このまま帰るのか?ボランティア団体はこんなに無力なのか?いろんな思いが駆け巡る。

07:30 磐梯山SAにて給油、ミーティング。仙台の救助犬チームも依然捜索要請無く待機中との事。

08:45 一路石川へ帰還することとする。ほぼ同時刻、待機中だった会長率いるチームも帰路に入ったと報告を受ける。

14:50 チーム6名5頭全員無事、森本に到着。解散とする。

追記・・・「生死にかかわらず家族の元へ一人でも帰してあげたい...」と思うのは皆同じ気持ち。

しかし、強い熱意が安全に関して無頓着になる。「協会メンバーを二次災害に巻き込むわけには行かない、捜索救助も大切だが、協会メンバーを無事帰還させる事も私の役目だから」と言う会長。

全員、悶々とした気持ちで帰還した訳だが、冷静に考えると納得もできる。今後の検討課題が多い。

出動する時間帯、チーム編成の割り振り、連絡不能の場合の対処、人選、犬選、エトセトラ・・・

慎重にするべき。今後の救助犬のスキルアップも必須である。

記録 高井ひとみ

もしも・・・の時に備えて



平野 孝明

私は、爺本を書店でパラパラとタイトルを見て、興味のあるような内容なら購入しています。

(妻は、『文藝春秋』を年寄りが読む本と、思っているらしく爺本と揶揄されています)

今月号には、「助けられた犬はぐっすり眠る」というタイトルもあり、興味を引かれ購入しました。

この爺本の付録に”もしもの時役立つノート”が付いていました。

誰しも自分が、災害や病気で命を落とすなんてあまり考えないものですが

もしもの時に備えて、自分と大切な人たちのために情報整理をしませんか?というもので、

その内容は大きく五つに分けられています。

もしもの時の5か条 ① 親族表

もしもの時の5か条 ② 家族・親族・友人一覧

もしもの時の5か条 ③ 葬儀について

もしもの時の5か条 ④ お墓について

もしもの時の5か条 ⑤ ペットについて



そうなんです!

5か条の⑤はペットについてなのです。

資産とか、相続とか、まだまだあると思ったのですが、ペットについてなのです。

えっ!?と驚き、なんて良い付録なんだ!!と思いました。(^.^)

我が家は、半年前に愛犬を見送ってとても哀しい思いをしました。

しかし、愛犬を残して逝くというのも、とても哀しく無念なことだと思います。

もしものノートでは

名前・生年月日・性別・生物名・種類・血統書の有無・登録番号・工サ（いつもの工サ・好きな工サ・嫌いな工サ）・病気ケガなど・避妊去勢手術の有無・飼育場所・かかりつけの病院・加入しているペット保険・行きつけのトリミングサロン・しつけ教室などの記入欄がありました。

でも、もう一つ欄をつけるとしたら、後に託す気持ち欄でしょうか?

誰しも自分だけは大丈夫と思うもの、準備は必要なのかな?でも愛犬の事を思うと必要なのかな・・・。

我が家の大愛犬めいぶる（コーラルホンディ工：3歳半）は、昨年の9月に入会させていただき、その後石川県災害救助犬の認定試験を受けるために練習を開始しました。

ですから、こうして書いてる時点では、まだ一度も

災害救助犬の試験を受けていません。

出来れば災害は起きないようにと願いながら、もしもの時には少しでも、周囲のお役に立てればと思いつつ、

前へ!探せ!などの指導手のコマンドを聞きながら一喜一憂して練習を見学しています。

そして、もしも我が身に何か起これば、練習の様に「わんわん…」と吠えられて、めいぶるに助け出されたいと思う今日この頃です。



石川県救助犬協会連合会 所属認定犬

2011年6月2日現在
順不同

犬 名	生年月日	犬 種	性別	認定資格
オリヴィア オブ シルヴァーヨシミ	2008. 4.26	ジャーマン シェパード	♀	石川県嘱託災害救助認定犬 石川県警察嘱託警察犬(総合)
アトム オブ オシハラヒガシJP	2007.11.27	ラブラドール レトリバー	♂	石川県嘱託災害救助認定犬
セシル オブ トキヨー シゲル JP	2003.4.16	ボーダーコリー	♀	JKC災害救助犬認定犬 石川県嘱託災害救助認定犬 セラピードッグ認定犬
フェアリー フォム ススムフジソー JP	2004. 8.29	ラブラドール レトリバー	♀	JKC災害救助犬認定犬 石川県嘱託災害救助認定犬
サン フォム トウインクル ティナ JP	2008. 7.29	ラブラドール レトリバー	♀	石川県嘱託災害救助認定犬
ビンゴ オブ ヨコスカ コバヤシ JP	2003. 1.11	ラブラドール レトリバー	♂	JKC災害救助犬認定犬 石川県嘱託災害救助認定犬 石川県警察嘱託警察犬(総合)
エアロスマス オブ ワイルド アット ハート JP	2000. 3.27	ラブラドール レトリバー	♀	石川県嘱託災害救助認定犬
ハウス ユーゲン JP アドール	2007. 5.19	コイケル ホンディエ	♂	JKC災害救助犬認定犬 石川県嘱託災害救助認定犬
イデューナ オブ パレス フィールド JP	2007.1.19	コイケル ホンディエ	♀	石川県嘱託災害救助認定犬
ジンガー オブ シャイニング ゴールド	2005. 2.25	ラブラドール レトリバー	♂	JKC災害救助犬認定犬 石川県嘱託災害救助認定犬
ブラックスター オブ ワイルド アット ハート JP	2001.4.23	ラブラドール レトリバー	♂	当協会認定災害救助認定犬
ジャバントップス ローズクラウン	2002. 8. 4	コリー	♀	当協会認定災害救助認定犬
MIKI OF KERRY-K JP	2008. 2. 2	ミニチュア シヌワザー	♂	セラピードッグ認定犬 当協会認定災害救助認定犬
クリス	2006.10.27	チャイニーズ クレストeddドッグ	♀	セラピードッグ認定犬
MICK OF KRUN KRUN DOG JP	2008. 8. 5	プードル	♂	セラピードッグ認定犬
SYURI OF NAKAMURA KOMACHI JP	2006. 5.21	ダックスフンド	♂	セラピードッグ認定犬
JOHN LOWE OF ISHITA HOUSE JP	2004. 7. 7	ダックスフンド	♀	セラピードッグ認定犬
Oak of Amigo House	2002. 1.10	ラブラドール レトリバー	♂	セラピードッグ認定犬
MARIA ROSA APRICOT DANCER FCI	2003. 4.13	プードル	♂	セラピードッグ認定犬
ジャック		プードル	♂	セラピードッグ認定犬
MARS OF RUDOLF MUFASA JP	2008. 5.27	ゴールデン レトリバー	♂	セラピードッグ認定犬
RAMSTASIA OF K.J.R. JP	2005.12.17	パピヨン	♀	セラピードッグ認定犬

石川県救助犬協会連合会について

事業内容及び目的

本会は救助犬による搜索、人命救助とその活動に必要な知識、技術の向上を図ることにより社会への奉仕を目的として活動しています。

- ・災害救助犬・警察犬・セラピードッグほかワーキングドッグ全般の作出・研究
- ・救助犬ハンドラー・指導手の育成
- ・犯罪者の逃走・潜伏場所の搜索
- ・救助犬の必要性についてのPR活動
- ・救助活動、救助犬作出、研究に関する関係各庁と関係団体との連絡協調
- ・種々の状況に対応できる救助犬の作出、研究と不明者搜索
- ・行方不明となったハイカー、キャンパー、子供、認知症老人搜索
- ・あらゆる現場で負傷等により動けなくなった人の搜索
- ・当協会へのボランティア活動者の募集
- ・学校、施設等の実演講演会の実施
- ・国内外における救助犬協会及びそれに類する団体との交流
- ・その他本会の目的を達成する為に必要な事業

協会員数 90家族 150名

賛助会員数 10団体

(平成23年3月末現在)

当協会が加入している団体

(社会福祉法人) 金沢市・石川県・全国社会福祉協議会

NPO法人 いしかわ災害ボランティアネットワーク

海守(一部会員)

賛助会員募集

当協会の活動は全て会員の無償のボランティアで成り立っています。

一頭でも多く、楽しく働く犬たちを社会に貢献させるために

皆さんからの、募金によるご協力をお願いいたします。

郵便振替口座

振替先 石川県救助犬協会連合会

口座番号 00710-8-55848

年会費 ¥3,000(1年間)

(通信欄に賛助会員とお書き添えください)



NPO-IRD 特定非営利活動法人
石川県救助犬協会連合会

<http://ird-a.org/>

